

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

INDEX

- ごあいさつ
院長 木寺 義郎…………… ①
- 消化器内科部長のご挨拶
- 地域医療支援病院
名称承認について…………… ②
- 診療活動の現況…………… ③
—手の外傷と感染症について—
- 簡単健康レシピ…………… ⑤
—さかなで動脈硬化予防—
- 医療安全研修会報告
- 地域医療連携室より…………… ⑥
- トピックス
24時間えぼしたすきりレーに参加して
- 編集後記
- 外来診療担当表…………… ⑦

「さくら前線、出発進行」撮影：相良利博 氏

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



今回の表紙を飾るのは、松浦鉄道の「浦ノ崎駅」のホームに懸る満開の桜です。卒業式に続いて新入生の姿が目に入る季節であり、直近の人口動態が明らかになる時期でもあります。例えば出生数については平成24年に103万人にまで減少し、今も毎年2万人ほどの割合で減少が続いていますので100万人を切るのも時間の問題となりました。戦後の第一次ベビーブームの頃には年間270万人にのぼり、私が義務教育を受けた頃には一学年に10教室以上というのが普通でした。出生数と反比例するように生殖補助医療による出生が増えていきます。2年毎に全国の登録施設からの成績が集計されますが、平成22年の体外受精による出生数は28,945人で実に総出生数の2.7%、つまり37人に1人という驚くべき数字が示されました。

平成に入って以降の佐世保市の出生数の変化を調べました(衛生統計年報2010 長崎県福祉保健部)。平成17年に市町村合併が始まりましたので単純な尺度で増減の程度は測れませんが、平成元年から10年間の平均年間出生数は2,500人、以降はこれより約200人の減少となっています。住民登録をしていない妊産婦さんは含まれませんので、地域における出生数と分娩数は一致しません。当院では里帰り出産の占める割合は全体の凡そ1/3であり、他の医療機関でも似たような状況にあると考えられますので、佐世保市内で取り扱われる分娩数は年間3,000件近くになると推定されます。

出生数の減少で10年前から佐世保市の人口は自然減に転じています。人口減少は街の活性や地域の発展を妨げます。減少している出生数であるからこそ、里帰りのお産も含めて貴重な赤ちゃんを安心して生んで育てられる環境作りが大切です。地域の医療機関と連携して周産期医療に貢献することは、当院の大事な役割の1つと考えられます。

消化器内科部長就任のご挨拶

消化器内科部長 こうの けんじ 河野 健次



- 出身地：長崎県波佐見町
- 出身大学：鳥取大学 昭和51年卒
- 主な職歴：昭和51年 長崎大学 第一内科入局
平成元年 長崎市民病院
平成5年 光晴会病院
平成10年 菊池病院
- 専門領域：肝臓疾患、一般内科
- 所属学会：日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器癌学会

1月より当院に赴任しております。高校は佐世保南高ですが、大学卒業後は長崎市内、松浦市内の病院勤務でしたので佐世保市内は初めてです。長崎時代は慢性肝炎のインターフェロン治療、肝硬変患者の腹水、食道静脈瘤の治療、肝臓癌に対するTAE、PEIT治療、上部消化管疾患の検査等を行っていました。県北に勤務してからは療養病床群の入院を受持ち、肺炎、脳梗塞・骨折後のリハビリ、寝たきり患者の経管栄養-胃瘻造設、外来では糖尿病、高血圧、高脂血症の治療、ならびに学校医や介護認定審査会の仕事等も行ってました。今回、縁あって共済病院勤務となりましたが、61才の私がどこまで役に立てるかわかりませんが微力ながら内科医療に貢献できればと思っています。宜しくお願い致します。

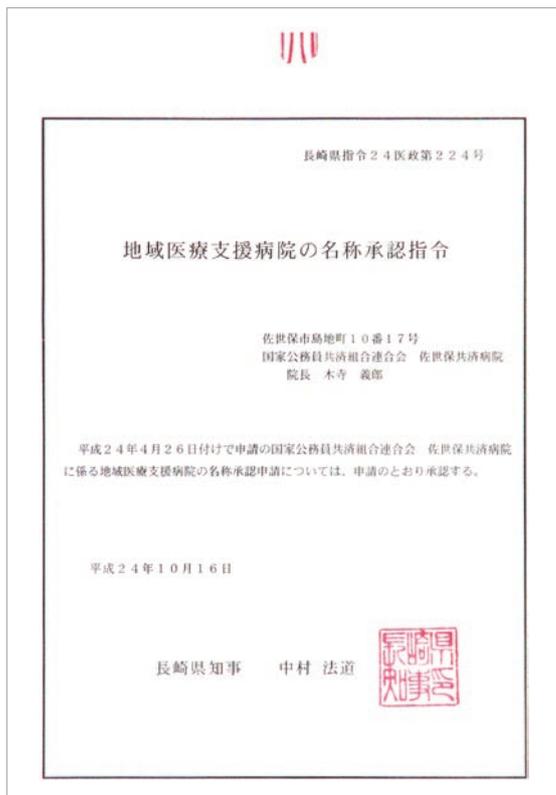
当院は平成 24 年 10 月 16 日に佐世保・県北地域の地域医療支援病院として県知事承認を頂きました。この制度は地域の診療所や病院を後方支援するための機能と役割分担を行う病院を認定し、地域連携を深めていくことを目的として 1997 年に創設されたもので、当院は佐世保中央病院・佐世保市立総合病院・長崎労災病院について 4 番目に承認となりました。

承認には紹介率、逆紹介率その他の厳しい必要要件がありますが、佐世保市医師会をはじめ、連携をお願いしている諸先生方にご協力頂き、院内の医師、職員一同の努力によりクリアすることができました。連携室一同この場をお借りしましてお礼申し上げます。



医療連携室スタッフ

今後当院は、3つの中核病院と協力し合い、お互いの得意分野を生かし連携をとり、佐世保・県北地域を支援する病院として頑張っており、ご支援を賜りますようお願いいたします。



連携医療機関登録医について

当院は、地域の先生方に連携医療機関登録医として登録していただき、以下のような取り組みを推進しております。ぜひ、ご登録をお願いいたします。

(登録に関しましては、当連携室までご連絡ください)

1. 開放病床共同利用

当院のベッドを地域の先生方に開放し、入院した患者さんに対して紹介元の医師と当院の担当医師とが連携して治療・経過観察を行うことにより、一貫性のある良質な医療を提供するための病床です。

2. 高度医療機器の共同利用

CT、MRI、RI などの画像診断装置、内視鏡診断装置他、院内の検査装置を共同利用することができます。

3. 研修会などへの参加

症例検討会や院内講演会などのご案内をいたします。

4. 院内施設の利用

当院の施設など（図書室・会議室・講堂など）が利用できます。

5. 医療相談体制（医療相談ホットライン）

当院ソーシャルワーカーが患者さんの施設入所の紹介や介護保険、身体障害者手帳診断、医療費支援制度の案内など地域の先生方からのご相談に応じます。（月曜日～金曜日の 8：30～17：30 に限ります）

6. 広報関係について

定期的に二次待機情報、医師の不在情報、各科からのお知らせ、研修会の開催予定などの最新情報を「連携室だより」として情報発信しております。



整形外科医長 花田 麻須大

【はじめに】

近年、医療技術の高度化に伴い医師の専門分野が細分化される傾向があります。例として、私たちの診療科である整形外科を挙げますと、部位別には脊椎、肩関節、股関節、膝関節、手などの専門分野があり、疾患別には関節リウマチ、感染症、腫瘍、小児整形外科などの専門性があり、各々の整形外科医はこのうちの幾つかの専門性を分担しています。医療技術の進歩が著しく、整形外科の全領域で一人の医師が最新の治療法、手術を行なうのが難しくなっているためです。

当院では私は一般的な骨折手術を担当するとともに、専門領域として手、上肢の疾患を担当しています。しかし、一般の方に「特に手を専門に診療している」と話しても、何をしているのかよくわからないと言われます。医療関係者でも想像しにくいようです。そこで手の専門的治療とはどういったものなのかを説明したいと思います。

【手の外傷とは】

腱鞘炎や手根管症候群（手の神経障害）や手首の骨折などの疾患は一般整形外科医で対応可能ですが、稀に高い専門性が必要な場合があります。

例えば電気ノコギリなどの工作機械で深い手のけがをされる方がおられます。仕事中的事故が多いのですが、趣味で工作などしているの受傷も最近多くなっています。他の部位と異なり、手の皮膚のすぐ下の特に掌側には大事な神経、血管、腱が網の目のように走っています。けがの際に皮膚とともに、重要な組織も同時に

損傷する場合があります。

手の血管神経は非常に細く直径が1mm程度なので、顕微鏡を用いた特殊な方法で神経や血管を縫合する必要があります。手の手術がSubspeciality 分野（更に細分化された専門分野）として存在する理由の一つとなっています。私は手を専門にしているため例に挙げましたが、こういった治療上の特殊性はそれぞれの整形外科の分野に存在します。そのため当院ではある程度専門性で分担し、学会参加、発表を通して、最新の治療法が行なえるよう努めています。



手の血管、神経縫合に用いる針、糸

【顕微鏡視下手術(Microsurgery) について】

当院に赴任してから、顕微鏡下に神経、血管吻合を要した症例は19例でした。そのうち最も重症なタイプの外傷で、緊急の血行再開（5時間以内が目安）が必要な状態を切断、不全切断と呼びます。切断、不全切断に対して血管吻合を行なった症例は8例でしたが、1例を除いて生着しました。血管吻合が不可能な場合でも、切断された指を縫合した上で腹部の皮下に埋め込み、組織の生着をはかる方法（Brent法）も行なっています。

【手の感染症】

私は当院に勤務して6年になります。当院の特徴として、手の感染症で受診される方が多い印象があります。共済病院は町中にあり受診しやすい場所です。また、整形外科は紹介状が必要でないので受診しやすく、救急疾患も数多く診療している事が理由のようです。

感染症の治療は、原因菌の種類によって変わってくるのですが、その際に細菌検査が非常に重要になります。膿などを採取し、培養器の中で細菌を増殖させて、どの種類の菌が感染を引き起こしているのか突き止めるのです。私は、細菌検査は直ぐに行なう事に非常に大きな意味があると考えています。当院では、膿などの試料が採取されると、夜間でも直ちに検査を開始します。ところが一般の病院では時間を置いて検査を開始する場合も多く、また場合によっては、細菌検査の業者に翌日に依頼したりします。細菌の中には空気を嫌う嫌気性菌と呼ばれる菌があり、空気に一定時間触れると死滅してしまいます。試料はいつも適切に保存できるとは限らず、翌日に検査を行なうと、原因菌が死滅する可能性があり、検査をすり抜ける事になるのです。私は今まで5カ所の病院で研修してきましたが、以前に勤務した病院と比較して、当院の細菌検査の検査体制は非常に充実していると思います。

【当院からの報告】

当院で手術を行なった手指感染症の検査結果15例を検討した結果、空気中では増殖しにくいタイプの菌の感染が従来報告されたより多いことが明らかになりました。当院での培養結果から、手指感染症の治癒率を改善するため、手術後は創部を縫合しないで開いたままとし、生理食塩水で直接洗浄を行なう治療法を採用しています。

最後になりますが、手の一般診療をしていて、特に一般の方々に注意していただきたい事があります。実は犬、猫に噛まれた傷は非常に感染を起こしやすいのです。動物の口腔内には無数の細菌が常に存在しているため、これは人でも同様です。治療も難しい場合があり、生命の危機に及ぶような感染も過去にありました。動物や人に噛まれた場合は医療機関への受診をお勧めします。

【症例】

ガラスで手掌を受傷し、中指、環指、小指が曲がらなくなっています。腱損傷の診断で腱縫合を行ないました。



受傷時



術後3ヶ月です。指の屈曲が可能になりました。

さかなで動脈硬化予防

～簡単健康レシピ～



桜鯛とは…桜が咲く頃が産卵期の身が締まって甘みがある真鯛のこと。

桜鯛を使った 野菜のカルパッチョ

～魚と野菜で血液サラサラ～

魚に含まれるEPA（イコサペンタエン酸）とDHA（ドコサヘキサエン酸）は動脈硬化を招く血中の悪玉コレステロールや中性脂肪を減らしたり、血圧を下げる効果があり、また野菜にも血液サラサラ効果があるので、いろいろな種類の野菜をバランスよく、たっぷり食べるようにしましょう。

＜一口メモ＞

血液サラサラ効果は魚は1回食べると長時間持続しますが、野菜は約7時間程度で効果がなくなると言われています。このことから、魚は一日3食のうち1回以上、野菜は毎食食べましょう。

栄養科 やすあか みゆき
安岡 幸

＜材料＞ 1人分

- 鯛の切り身 40g
- プチトマト 20g
- 赤玉ねぎ 20g
- きゅうり 20g
- かいわれ大根 5g
- ④ { ● オリーブオイル 小さじ1
- 酢 小さじ1/3
- 塩・コショウ 少々

＜作り方＞

- ① 桜鯛はそぎ切りし、プチトマト・きゅうりは薄く切る。
- ② 赤玉ねぎは薄く切ったのち、水にさらして、水気をとる。
- ③ かいわれ大根は水洗いし軽く水気をとる。
- ④ ①～③を皿に盛り付け、よく混ぜ合わせた④をかける。



今回紹介している④の代わりに、市販されているノンオイルのドレッシングやポン酢など、油を使用していないものを使うと、さらにヘルシーです。

医療安全研修会報告

医療安全管理室師長 山崎 純子

3月1日に平成24年度 第2回医療安全研修会「院内における防犯対策」を開催しました。12月3日の第1回医療安全研修会の中では「実際に発生した患者からの暴力事例」を報告しました。一歩間違えば職員の生命危機につながる事例でしたが、相手は手術後の不隠状態にある患者さんという通常とは違う状態の場合、医療従事者としてどう対応し、どう自分の身を守るか、ということを考えさせられました。

今回は講師に佐世保警察署 生活安全課課長 中村昌司氏を迎え、防犯基礎講座のDVD鑑賞、佐世保市内の犯罪の動向、そして院内における不審者への対応について学び、最後に護身術の実践を実習しました（写真）。



怪しい人物を見かけた時や行動など怪しいと思った時は、「相手が誰か知る」ことが大切であり、相手を知るためには「声かけ」が必要であると学びました。

護身術は二人一組となり、実践してみましたが、なかなか思い通りにはできず、実際に遭遇しても「恐怖心でできるかどうか？」という思いもあります。日本中でも様々な事件が発生している昨今、病院の中で患者さんの安全、自分たちの安全をどう守るべきか考えさせられた研修会でした。

地域医療
連携室より

Part.
19

山口てつ整形外科クリニック

〒857-0133 佐世保市矢峰町90-25

TEL 0956-76-8520

院長 やま ぐち 山口 てつ 哲 先生



山口先生（中央）とスタッフの皆さん

平成 22 年 4 月に佐世保市矢峰町に開院いたしました。祖父（國衛）、父（國行：春日町山口胃腸科外科医院）、兄（倫：久留米大学医学部病理学講座准教授）と 3 代に渡って佐世保共済病院に勤務歴があることで強いご縁を感じております。私自身の共済病院関連の思い出は、日曜祭日に病院裏で『すぐ終わる!』の言葉を信じなかなか出て来ない父の病棟回診を首を長くして待っていた（今思えばナースステーションでダジャレを連発していただけか？）ことや、高校生の頃当時外科部長であった松永章先生に実家の医院に赴いていただき虫垂を摘出していただいたことでしょうか。

私は福岡大学整形外科教室に入局後、関連病院で研鑽を積み内藤正俊教授の御指導のもと`全人工股関節置換術における後外側再建が可動域と筋力に及ぼす効果について、で博士号を取得いたしました。在局中に幸いにもアメリカ留学の機会をいただき Leo Whiteside 先生の Missouri Bone and Joint Center で膝バイオメカニクスの研究を行い、帰国後は福岡徳洲会病院で尾上英俊先生から整形外科外傷を、また有名プロ選手が多数来院する久恒病院で原正文先生からスポーツ整形外科を指導していただく機会を得ました。これまでの経験を生かし祖父、父に倣い微力ながら地域医療に携わることができればと思っております。今後も佐世保共済病院には整形外科 (subspecialty が揃っておられ大変心強く思っています。) をはじめとする、様々な科にわたる病診連携をお願いしたいと思っております。どうか宜しくお願いいたします。

トピックス 24時間えぼしたすきリレーに参加して 研修医 村上 健太

3月9日(土)～10日(日)に佐世保青少年の天地で「第16回24時間えぼしたすきリレー」が開催され、当院からも様々な職種の職員とその家族が参加しました。当日は例年より暖かく、心配された天気も持ちこたえ無事に完走することができました。おにぎり、赤飯、おでん、ぜんざいなど様々な差し入れ、ありがとうございました。昨年のYOSAKOIさせほ祭りに続いて、今回も当院から大会救護班として木本、田尻、梶田、村上の4名が現地で24時間待機し、大会を見守りました。この大会を通じて、院内の職種間の連携が強まり、また、地域の皆さんとの交流を深めるきっかけになったことと思います。今後も過酷だけど“楽しい”定例行事としてますます定着していくことと思います。参加した皆さん、お疲れ様でした。



後列中央が村上医師

編集後記

今号の表紙は桜と松浦鉄道の写真です。松浦鉄道は共済病院は近くを走っていて、とても身近に感じているのですが、春爛漫の松浦鉄道はいつもとは違った雰囲気に見えます。きょうさいだよりも身近な存在であり、時には一味違った一面も見せられるよう頑張りたいと思います。

編集委員 田代 祐子



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 25 年 4 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考 (専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●										腎臓疾患・人工腎臓
	医員	金谷 晶子		●		●							腎臓疾患
	〃	松本圭一郎	●						●		●		腎臓疾患
	〃	吉崎 真衣									●		腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医員	戸次 宗久	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患
	〃	瀧井 英一									●		循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	鈴木 邦裕									●		呼吸器疾患
	〃	横山 哲也					●						呼吸器疾患
消化器内科	部長	河野 健次			●				●				肝臓疾患
	医員	梶田 清貴	●				●						
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等 月曜の診察は5/1から下村医師に変更になります
外科	外科顧問	松永 章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	診療部長	井原 司						●	●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋			●						●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	三笠 圭太	●				●				●		血管外科・一般外科
	医員	佐藤 寿洋			●						●		消化器外科・一般外科
	〃	片桐 光浩	●								●		一般外科
	〃	下村 晋			●					●			一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二								●			呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい (要予約)
			佐藤		片桐		原田		原田		下村		
小児科	診療部長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	医長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息
	乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始
	喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい
	頭痛外来 (完全予約制)			●	●	●		●					月曜、水曜:午後2時30分~午後4時30分 火曜:午前11時~午後0時30分、午後2時30分~午後3時30分
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	久我 尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨・軟部腫瘍、骨折
	医長	花田麻須大			●		●		●				手の外科、マイクロサージェリー
	〃	水城 安尋			●		●		●		●		肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	医員	佐々木 大	●				●		●				関節疾患、骨軟部腫瘍
	〃	内村 大輝	●		●						●		肩関節疾患、スポーツ障害
	〃	新井 貴之	●						●		●		整形外科一般
〃	松下 優											整形外科一般	
皮膚科	医長	大津 正和	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍
	医員	白井 礼子	●	●	●		●		●	●	●		男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術 (火・水・金の午後)
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部長	江口 二朗	※		●				●		●		男性不妊 (江口部長) ▲の診察は第1週のみ10時30分からです
	医長	中村 貴生	※		●		●		▲				※:第2・4週 (江口部長) 第1・3・5週 (中村医長) が診察を行います
産婦人科	院長	木寺 義郎	●				●				●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●: 婦人科診療日 ■: 産科診療日
	〃	松隈 敬太							●				
	医員	二尾 愛	●■		●				●		■		
〃	大塚 純一	●				■							
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、 眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	医員	篠田 美佳	●		●	※	●	※	●		●	※	眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
耳鼻咽喉科	医長	竹内寅之進	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	丸田 弾	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	医員	深江 俊哉											
	〃	吉田 紋子											
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月~金午前ペイン・緩和ケア外来
	医員	木本 文子	●				●				●		月~金午後は手術麻酔
	非常勤医	吉村 真紀											
病理診断科	診療部長	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
	医長	角町 鎮男	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科 (紹介患者のみ新患受付)
歯科口腔外科	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	顎変形症 (外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど
	部長	佐藤 浩信											
健診センター	医長	原 敬一											
	医員	赤司富紗雄											
	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。												